

執筆要綱

2014年3月1日修正

- 1 原稿は横書きとする。
- 2 原稿は、電子データと印刷したものの双方を提出する。
- 3 英文タイトルと英文要旨（200語程度）もあわせて提出する。
- 4 書式について
A4用紙1枚に、明朝体で、40字×35行をおさめる。
- 5 句読点について
「点（、）」と「丸（。）」を用いる。
- 6 数字について
原則として、半角のアラビア数字をもちいる。3桁ごとにコンマを打つ。また、桁数の多い場合、1億3400万円のように適宜単位を補ってもよい。その際は、コンマは用いない。
- 7 単位について
%、kg（半角）などの略号を用いる。
- 8 図表について
 - 1) 本文と図表は別に作成し、本文中に【図1挿入】【表1挿入】などと記入する。
 - 2) 図表については、図と表を区別し、図表の上部に「図1 タイトル」、「表1 タイトル」を示し、図の下部に「(典拠) 著者、書名、ページ数」を記載する。また、絵画、図版などの著作権の処理については、掲載決定後には著者の責任で行うこととする。
- 9 注について
 - 1) 注については、本文中に上付き文字で表示し、注は論文末に一括して掲載する。作成に当たりワードの注機能を用いることは可とする。
 - 2) 注の番号は、1)、2)、3)・・・の書式を用いる。
- 10 謝辞は掲載できない。

11 科研費などの研究助成表記については、論文末尾に括弧[]を付けて記すことができる。

【例】

[本稿は●●●●年度科学研究費(課題番号 123456789)の成果の一部である]

12 文献表記について

1) 日本語著作の表記は以下のようにする。

①初出 著者『題名—副題—』出版社、出版年、頁数（複数頁の場合は、1～3頁のように表記する）。[注の最後には句点（。）をつける]。また、連記する場合は著者は同『書名』出版社、出版年とする。

【例】

今井けい『イギリス女性運動史—フェミニズムと女性労働運動の結合—』日本経済評論社、1992年、20～30頁。水田珠枝『女性解放思想史』筑摩書房、1979年、31～40頁。同『ミル「女性の解放」を読む』岩波書店、1984年、41～50頁。

②再出の場合は、「前掲書」という表記を用いず、著者（姓のみ。同一姓が複数いる場合は名も）[出版年]、頁数とする。同じ著者の著作が同一年に複数ある場合は、[出版年（複数ある場合は、簡単なタイトル表示）]、頁数とする。

【例】

今井[1992]、51～60頁、あるいは、今井[1992（女性労働運動史）]、51～60頁。

2) 日本語論文の場合は、以下のようにする。

①初出 著者「論文名」、『雑誌名』（紀要の場合は（ ）の中に大学名を入れる）、出版年、頁数、あるいは『書名』発行年、頁数とする。また、同じ著者の論文を連記する場合は、著者には「同」を用いる。

【例】

河村貞枝「移住するガヴァネス—中流階級女性と移民—」、川北稔・指昭博編『周縁からのまなざし—もうひとつのイギリス近代—』山川出版社、2000年、61～70頁。

竹内敬子「イギリス工場法とフェミニズム」『女性労働問題研究』第38号、2000年。

②再出の場合は、「前掲稿」は用いず、著者[発行年]、頁数とする。同じ著者の論文が同一年に複数ある場合は、[出版年（複数ある場合は、簡単なタイトル表示）]、頁数とする。

3) 欧米語の著作の表記は以下のようにする。

①初出 著者名（姓、イニシャル）、書名（イタリック）、出版地：出版社、出版年とする。編集本の場合は、(ed.) または (eds.) を用いる。

【例】

Godwin, W., *Memoirs of the Author of a Vindication of the Rights of Women*, London : J. Johnson, 1798, pp. 71-80.

McGlynn, C. , Mycock, A., & McAuley, J.W. (eds.), *Britishness, Identity and Citizenship: The View from Abroad*, Oxford: Peter Lang, 2008.

②再出 Ibid, op.cit., は用いず、著者姓[出版年]、頁数とする。同一著者の著作が、同一年に複数ある場合は、日本語文献の方式に準ずる。

【例】

Godwin[1798], pp. 81-90.

③翻訳があり、それを参照した場合は、その情報も記す。翻訳書・論文しか用いていない場合は、翻訳の題名だけを記す。

【例】

Langford, P. (ed.), *Oxford Short History of the British Isles: The Eighteenth Century, 1688-1815*, Oxford: Oxford University Press, 2002 (鶴島博和監修、坂下史監訳『オックスフォード ブリテン諸島の歴史 8 18世紀 1688年-1815年』慶応義塾大学出版会、2013年).

4) 欧米語の論文の表記は以下のようにする。

①初出 著者名 (姓,イニシャル)、‘論文名’、雑誌名 (あるいは書名:イタリック)、出版年、頁数とする。

【例】

Vickery, A., ‘Historiographical Review: Golden Age to Separate Spheres? A Review of the Categories and Chronology of English Women’s History’, *Historical Journal*, 36, 2, 1993, pp. 91-100.

②再出 著者姓[発行年]、頁数とする。

【例】

Vickery[1993], pp. 100-110.